

平成17年11月

金 沢 大 会 を 終 え て

第16回全日本都市職員バドミントン大会実行委員会
委員長 福田 雅幸

11月3日から6日までの4日間にわたり、北は青森県黒石市から南は長崎県長崎市まで、全国30都府県、73都市から731名にもおよぶ選手のほか監督や関係者を「加賀百万石の城下町 金沢市」と「名峰と大海をつなぐまち 白山市」にお迎えし、天候にも恵まれ、第16回全日本都市職員バドミントン大会を無事終了することが出来ました。

全国各地からお集まり頂いた皆様をはじめ、大会開催にあたり多大な支援をいただいた関係者・関係団体に対し、実行委員会一同より心から感謝申し上げます。

今大会では2市にまたがる初めての開催となったことで、多くの方に大変ご不便をおかけしたと思います。心からお詫び申し上げます。しかしながら開会式や選手交歓会は交通の便を考え、金沢駅前で実施したこと、また白山市の美川会場では、ふるまい鍋を用意し、合併記念として地元が一丸となって歓迎申し上げたものでございます。

また、できるだけ選手の移動のないよう2月の事前通知やタイムテーブル案を早くからお渡しし、その周知に務めてきたことなど、運営面でも工夫いたしました。それでも、数人の方には会場移動があったようですが、お許しを願いたいと思います。

聞き及ぶところによりますとコート外の金沢・片町でも選手相互の和と親善が図られていたとのことでございます。本大会の一つの意義として心暖まる思いでございます。

最後に、「みちのくは出羽の国」 鶴岡市での次回開催は、東日本地域では12年ぶりのこととなります。ぜひ平成18年11月2日には、参加できるよう皆様方の一層のご健康とご活躍を祈念いたしまして、本大会のお礼のことばとさせていただきます。